

富士見駅前商店街のまちづくりに関するアンケート調査
報告書

概要版

令和7年7月
富士見町 建設課

1. 調査の概要

1.1. 調査目的

都市計画道路 3・5・10 富士見駅富里線（以下、「(都)富士見駅富里線」という。）は、富士見駅を中心とした大規模な土地区画整理事業の実施などを前提として平成4年に当初決定された路線である。一部の区間は概成済となっているが、富士見駅前商店街と並走する区間については未整備となっており、将来的な人口減少などが予測される中、前提となっている土地区画整理事業の実施が困難な状況であり、未整備区間の実現性に大きな課題を抱えている。

以上の背景を踏まえ、富士見駅前商店街における道路整備のあり方や、(都)富士見駅富里線の見直しの方向性に関する意向等を把握することを目的として、アンケート調査を実施した。

1.2. 調査概要

アンケート調査の概要は以下のとおり。

調査区分	全数調査
調査対象者	1,549人 ▼内訳 ①富士見区、富里区、富士見台区の全世帯(世帯主)：1,513人 ・富士見区 (798人) ・富里区 (524人) ・富士見台区 (191人) ②その他：36人 ・富士見駅前商店街の商店主 (①の対象者を除く) ・(都)富士見駅富里線の地権者(①の対象者を除く)
対象者の抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
配布・回収方法	配布：郵送による配布 回収：① 郵送による回答(回収) ② インターネット(Web)による回答(回収) (インターネットによる回答は「Google フォーム」を使用)
調査期間	令和7年1月22日(水)～2月12日(水)

1.3. 回収結果

実施したアンケートの回収結果は以下のとおり。

配布数	1,549人
回収数(有効回答数)	729人
回収率(有効回答率)	47.1%

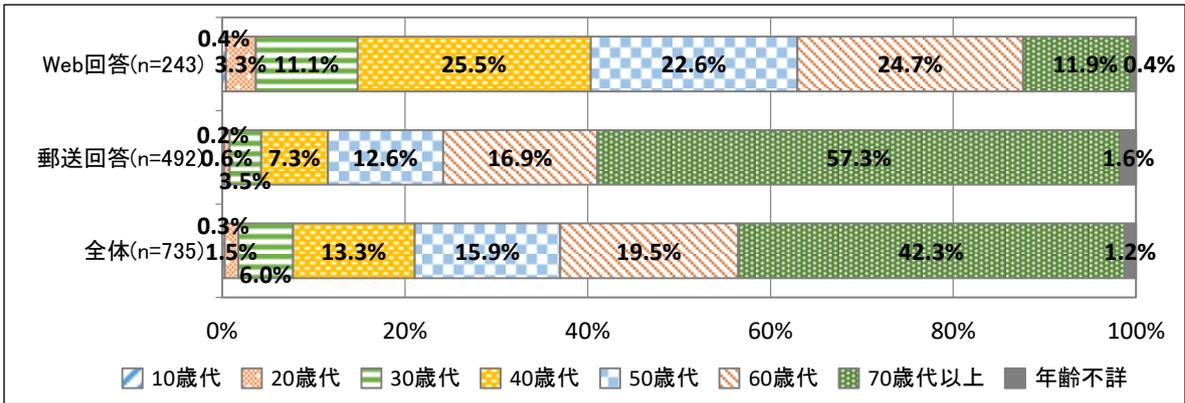


図 アンケート回収結果（回収方法別・年代別の内訳）

1.4. 留意事項

- (1) 構成比は、四捨五入、端数処理により 100%とならないことがある。
- (2) グラフ・表における「n」は有効回答者数を示す。
- (3) 複数回答における回答率は、全回答者のうちどれくらいの人数が回答したかを示す。

2. 調査結果

2.1. 回答者属性

質問1	あなたの性別を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください)
-----	-------------------------------------

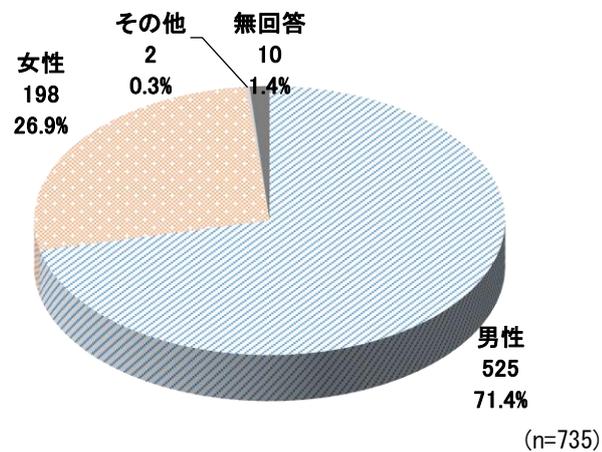


図 回答者属性：性別

質問2	あなたの年齢を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください)
-----	-------------------------------------

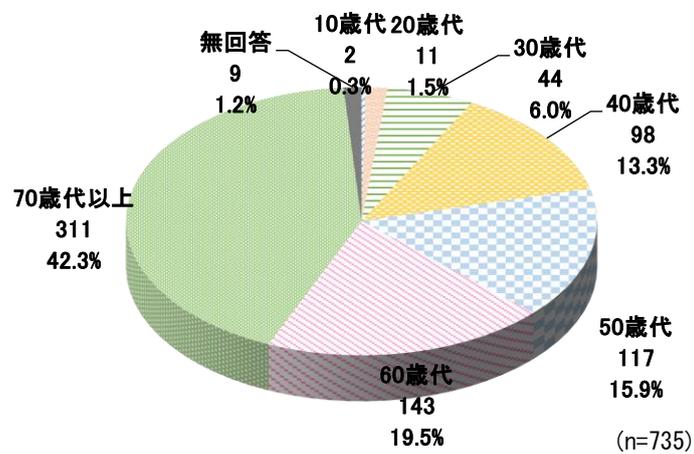
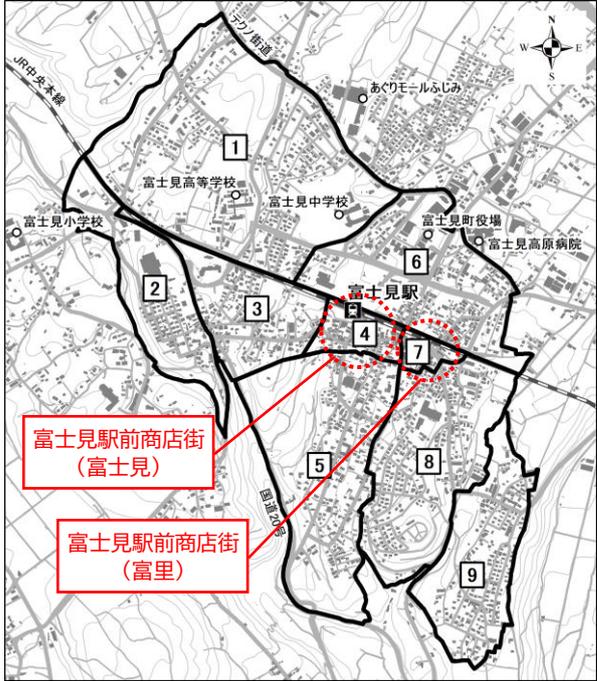


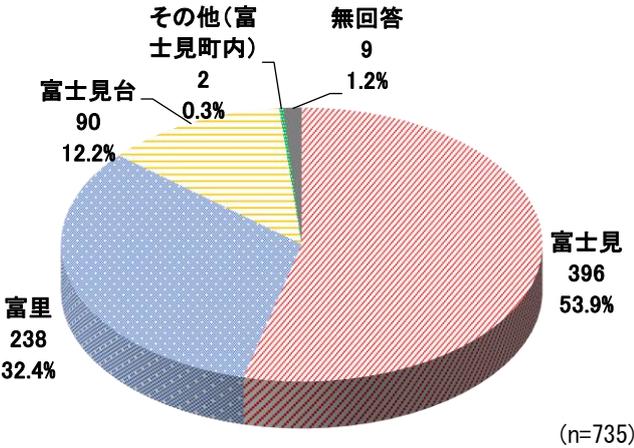
図 回答者属性：年齢

質問3 あなたの住まいの地区を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください)

図中番号	5分類	7分類
1	富士見	富士見
2		
3		
4	富士見	富士見駅前商店街(富士見)
5		富士見
6		富里
7	富里	富士見駅前商店街(富里)
8		富里
9		富士見台
-	その他(富士見町内)	その他(富士見町内)
-	その他(富士見町外)	その他(富士見町外)



〈5分類〉



〈7分類〉

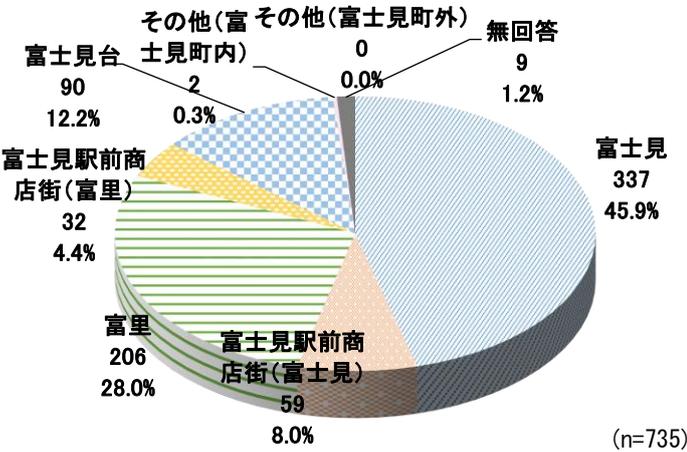


図 回答者属性：居住地区

2.2. 富士見駅、富士見駅前商店街の利用状況について

2.2.1. 富士見駅及び駅前商店街の利用頻度

質問4	富士見駅西側（駅改札口側）についてお聞きします。あなたのご家庭では駅及び駅前商店街をどのくらいの頻度で利用（駅前駐車場を含む）しているか教えてください。（該当する番号1つに○を付けてください）
-----	--

「月1回」（32.7%）の割合が最も高く、次いで、「利用していない」（28.8%）、「週1回」（11.4%）の割合が高くなっている。

また、「利用している（月1回以上の利用）」と「利用していない」の割合を比較すると、「利用している（月1回以上の利用）」（61.9%）が約6割を占めている。

年齢別のクロス集計結果をみると、40歳代は、富士見駅及び駅前商店街を「ほぼ毎日」利用している割合が他の年代と比べて高く、20歳代や30歳代の若い年代では、「利用していない」の割合が高い傾向がある。

居住地区別のクロス集計結果をみると、富士見駅商店街（富士見区）の居住者は、富士見駅及び駅前商店街を「利用している」の割合が特に高い傾向がある。

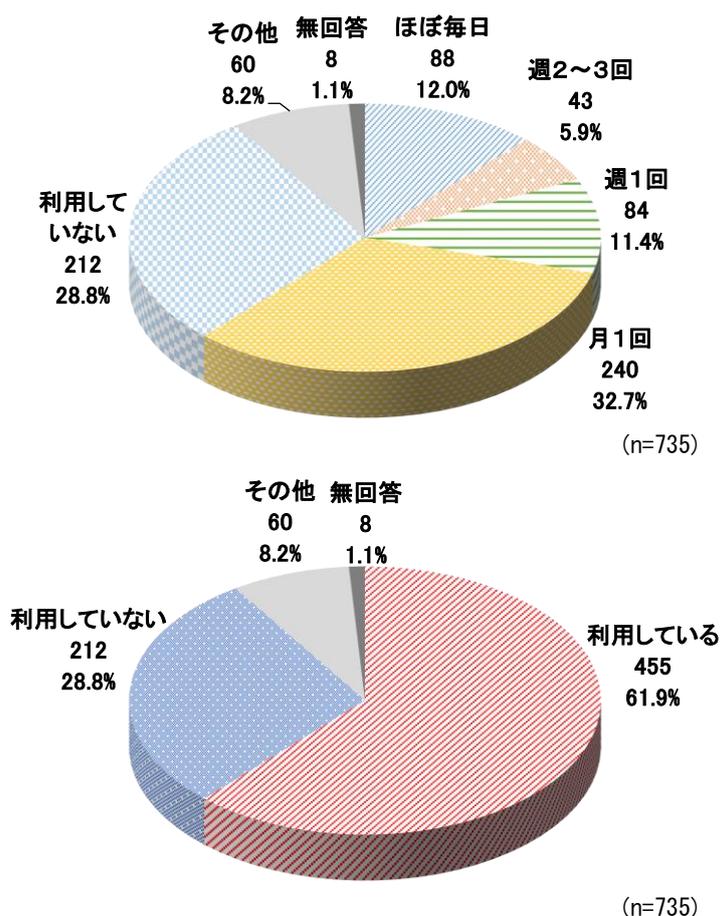


図 【単純集計】 富士見駅及び駅前商店街の利用頻度

2.2.2. 富士見駅及び駅前商店街の利用目的

質問5	あなたのご家庭では、駅及び駅前商店街をどのような目的で利用されていますか。 (該当する番号全てに○を付けてください)
-----	---

「買い物」(32.9%)の割合が最も高く、次いで、「飲食店の利用」(30.5%)、「駅への送迎」(27.9%)の割合が高くなっている。また、「利用していない」(21.9%)の割合は約2割となっている。

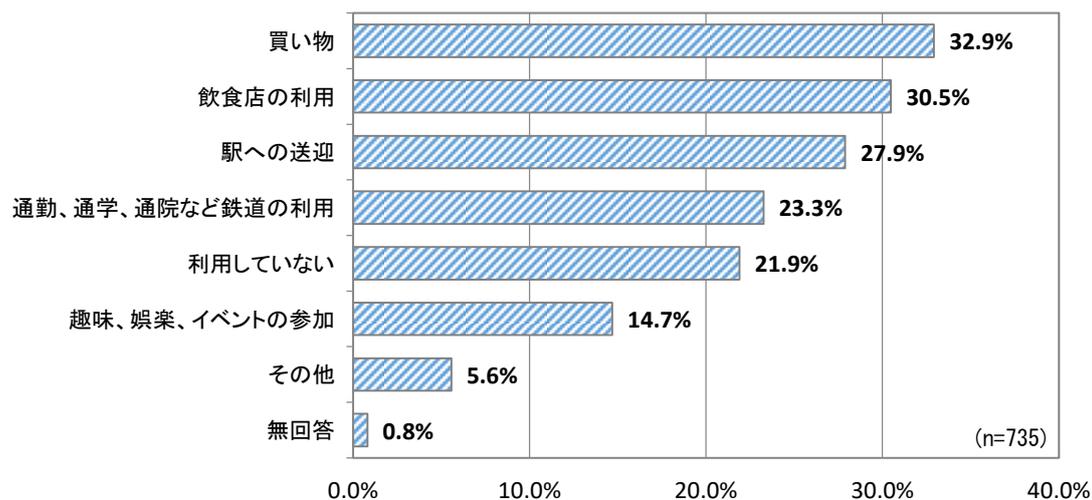


図 【単純集計】 富士見駅及び駅前商店街の利用目的

2.3. 富士見駅前商店街のあり方について

2.3.1. 富士見駅前商店街の今後の方向性

質問6	富士見駅前商店街の今後の方向性として、どのような点を重視すべきだと思いますか。(該当する番号2つに○を付けてください)
-----	---

「空き店舗を改修し、新しい産業やサービスの導入を図る」(68.0%)の割合が最も高く、次いで、「商店を充実させ、商店街の活性化を図る」(39.7%)の割合が高くなっている。また、「現状のままで良い」(7.5%)の割合は1割以下となっている。

年齢別のクロス集計結果をみると、20歳代以下、30歳代では、「商店を充実させ、商店街の活性化を図る」の割合が特に高くなっている。

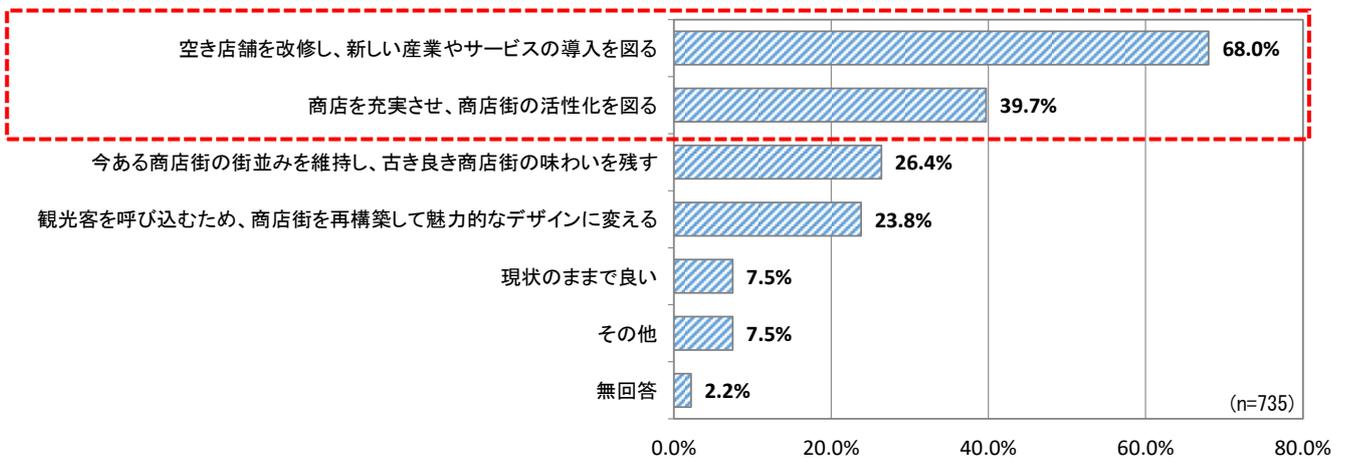


図 【単純集計】 富士見駅前商店街の今後の方向性



住民意向を踏まえた検討の方向性

富士見駅前商店街の今後の方向性として、以下の事項を重視する必要がある。

- ① 「現状のままで良い」の割合が低いため、**商店街の活性化等に向けた対応**が必要
- ② 商店街の活性化に向けて、空き店舗の活用、商店の充実が必要

2.3.2. 富士見駅前商店街の道路整備で考慮すべきこと

質問7	富士見駅前商店街の道路整備にあたり、特に考慮してほしいと思うことについて、あなたの考えに近いものを教えてください。(該当する番号全てに○を付けてください)
-----	---

「歩行者の安全性確保」(66.9%)の割合が最も高く、次いで、「駅前商店街の利便性と機能性の向上」(50.9%)、「地震や大雪など、自然災害への対応強化」(41.9%)の割合が高くなっている。また、「現状のままで良い」(6.4%)の割合は1割以下となっている。

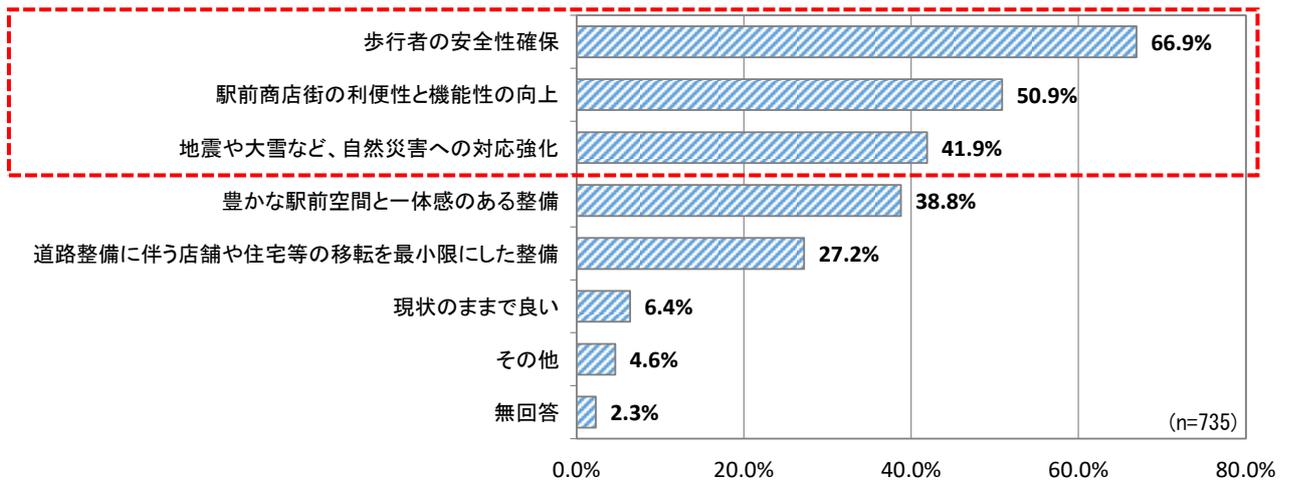


図 【単純集計】 富士見駅前商店街の道路整備で考慮すべきこと



住民意向を踏まえた検討の方向性

富士見駅前商店街の道路整備にあたり、以下の事項を特に考慮する必要がある。

- ① 「歩行者の安全性確保」を特に重視する必要がある
- ② 商店街の道路整備は、商店街の利便性と機能性の向上に寄与する必要がある
- ③ 防災面での対応強化が必要

2.3.3. 富士見駅前商店街の道路整備に求められること

質問8	富士見駅前商店街の道路整備について、あなたが必要と考えるものを教えてください。(該当する番号全てに○を付けてください)
-----	---

「歩道整備」(73.6%)の割合が最も高く、次いで、「駐車場の拡充」(46.3%)、「車道拡幅」(41.4%)の割合が高くなっている。また、「現状のままで良い」(6.5%)の割合は1割以下となっている。

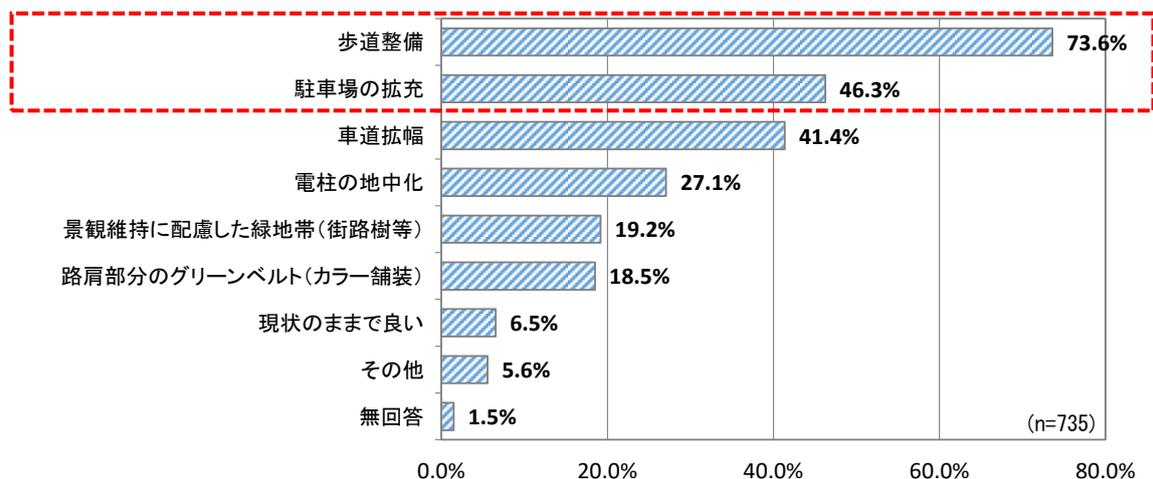


図 【単純集計】 富士見駅前商店街の道路整備に求められること



住民意向を踏まえた検討の方向性

富士見駅前商店街の道路整備については、以下の事項が求められている。

- ① 商店街の道路整備としては、**歩行者空間の機能強化(歩道整備など)が必要**
- ② **駐車場の拡充**についても、**駅西側(駅改札口側)、駅東側(町民センター側)の整備方針との整合が必要**

2.4. 都市計画道路「富士見駅富里線」のあり方について

2.4.1. 都市計画道路「富士見駅富里線」の認知度

質問9	都市計画道路「富士見駅富里線」の計画をご存じですか。また、所有されている土地などが富士見駅富里線の整備予定地となっているか教えてください。（該当する番号1つに○を付けてください）
-----	---

「計画について全く知らない」（53.9%）が約5割を占めており、「計画の存在は知っているが、具体的な位置などは知らない」（23.7%）を合わせると、約8割が具体的な位置などを知らない状況である。

年齢別のクロス集計結果をみると、若い世代ほど都市計画道路の認知度が低い傾向がある。

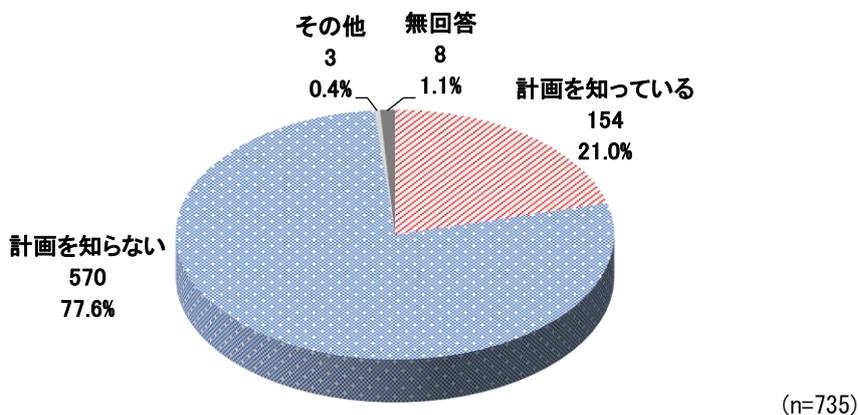
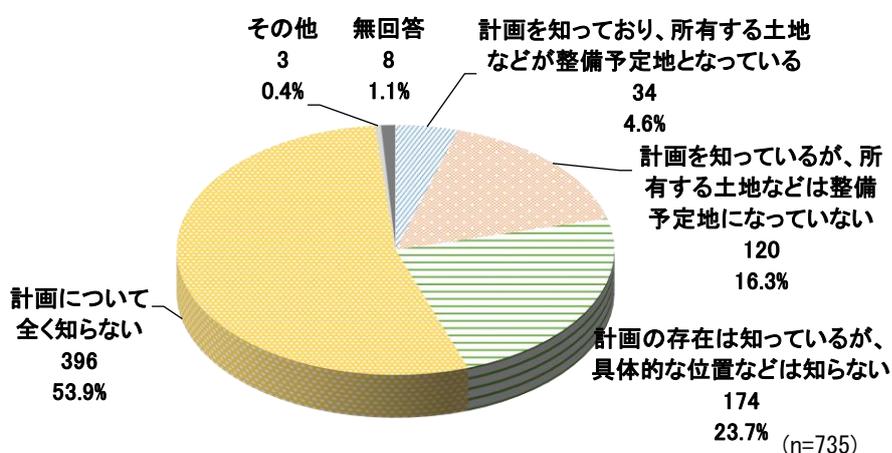


図 【単純集計】 都市計画道路「富士見駅富里線」の認知度

2.4.2. 都市計画道路「富士見駅富里線」の整備方針に対する考え

質問 10	現在の都市計画道路「富士見駅富里線」の計画路線については、道路の新設に伴い、建物等の大規模な移転が必要な計画となっています。この計画路線の整備方針について、あなたの考えに最も近いものを教えてください。（該当する番号1つに○を付けてください）
-------	--

「現道（一般県道乙事富士見線）を活かした新たな整備を検討する」（46.7%）の割合が最も高く、次いで、「計画通り新設を伴う道路整備を進める」（25.3%）の割合が高くなっている。また、「整備をする必要はない」（18.8%）の割合は約2割となっている。

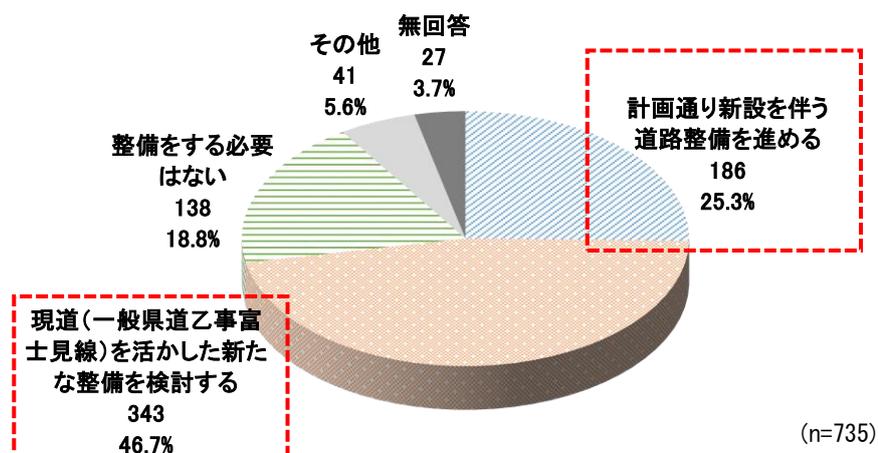


図 【単純集計】 都市計画道路「富士見駅富里線」の整備方針に対する考え



住民意向を踏まえた検討の方向性

「新設を伴う道路整備を進める」と「現道を活かした新たな整備を検討する」をあわせれば、全体として何らかの整備が必要であるという意見が多い。

⇒ 「現道（一般県道乙事富士見線）を活かした新たな整備を検討する」の割合が高いため、都市計画道路「富士見駅富里線」の見直し検討にあたっては、「現道活用」を基本として、整備案については慎重に検討したい。